

《担当者名》白石 淳 [ jun-jun@hoku-iryo-u.ac.jp ] 福間 麻紀 [ m-fukuma@hoku-iryo-u.ac.jp ]

【概要】

教育福祉学特論の学修をもとに、演習形式により文献検索・講読・討論をとおして、教育福祉に関する諸課題及び自ら設定する課題について深化させ、課題研究に発展させる。

【学修目標】

授業終了後には、次に示されたことができるようになる。

- 1)今日の社会における教育福祉に関する諸課題を取り上げ、課題が生じている要因などを的確に指摘することができる。
- 2)自らの学修課題を明確にすることができる。
- 3)上記の問題を解決する糸口を掴むことができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	授業のガイダンス	この演習の進め方を説明する。	白石 福間
2 ) 3	教育福祉に関する基本的な枠組み	先行研究から、教育福祉の到達点を検討する。	白石 福間
4 ) 5	教育福祉に関する分析の視点	先行研究から、教育福祉の分析の視点を検討する。	白石 福間
6 ) 7	教育福祉に関する調査の手法の検討	先行研究から、教育福祉の調査の手法を検討する。	白石 福間
8 ) 12	教育福祉に関する課題についての論文の講読及び検討	課題に関する論文の講読を行い、課題について検討する。	白石 福間
13 ) 15	教育福祉に関する課題についての研究方法の検討	課題についての研究方法を検討する。	白石 福間

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業の取組状況(参加、準備、意欲、態度)80% 課題の提出20%

【教科書】

適宜紹介指定する。

【参考書】

必要に応じて適宜紹介する。

【学修の準備】

課題に関連する文献を収集すること。その内容について、報告を求める。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、臨床福祉学における高度な専門性と研究能力を修得するという臨床福祉学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。